

第8波の確実な終息を目指して（抜粋）

令和5年3月3日決定
岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部

政府の方針を踏まえて、岐阜県におけるマスク着用の考え方を別添のとおり整理いたしました。マスク着用について適切に対応していただくとともに、引き続き、第8波の終息を確かなものとするよう、対策を徹底していただきますようお願い申し上げます。

<県民の皆様にご協力をお願いします>

- 速やかなワクチン接種
- 基本的な感染防止対策の徹底
- 救急外来や救急車の利用は、真に必要な場合に限る
- 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出など、感染拡大につながる行動は慎重に
- 飲食店での大声や長時間の飲食の回避、大人数の会食への参加は慎重に

岐阜県におけるマスク着用の考え方について

- 個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねる。

- 以下の場面では、マスク着用を推奨する。
 - ・ 医療機関受診時
 - ・ 医療機関、高齢者施設、障がい者施設への訪問時
 - ・ 医療機関、高齢者施設、障がい者施設の従事者の勤務中
 - ・ 混雑した電車やバスに乗車する時（当面の取扱）
 - ・ 重症化リスクの高い方（65 歳以上の方、基礎疾患のある方、妊婦など）が混雑した場所に行く時

- 上記にかかわらず、以下に該当する場合は外出を控え、やむを得ず外出する際にはマスクを着用する。
 - ・ 症状（鼻水、鼻づまり、のどの痛み、咳、発熱、倦怠感、頭痛、下痢）がある場合
 - ・ 無症状でも新型コロナウイルスの検査で陽性の場合
 - ・ 無症状でも同居家族に陽性者がいる場合

- 症状がある方が、家族と接する時（特に家庭内に重症化リスクの高い方がいる場合）はマスクを着用する。